

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2294201039		
法人名	(株)アイケア		
事業所名	グープホームあいの街袖師		
所在地	静岡県清水区袖師町141-1		
自己評価作成日	令和4年7月12日	評価結果市町村受理日	令和4年9月20日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&UjyosyoCd=2294201039-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和4年7月26日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

介護度が年々重くなり、以前に比べてできることが減り意欲もなくなってきている。それとは反面、ほぼ自分の事は自分でできる方やできない方のお手伝いをしてくださる方がいる。また、職員と一緒に洗濯や調理等行ったり、入浴もほぼ自立で入られる方がいて職員は危険がないよう見守りを行っています。残存機能を生かして頂けるよう個別に対応しています。看取り対象の方は他職種との連携を密にし今後のケアについて話し合いその人らしく生活できるように支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

小規模多機能事業所と併設しており、また介護支援専門員と管理者とで力をあわせ地域包括支援センターとの連携を可能としており、家庭からの移行が段階を踏み進められている事業所です。最近入所の利用者はやや緊急避難として先ずは小規模多機能事業所のショートを利用、東京にいる息子と管理者がやりとりを重ね、今ではグループホームでの穏やかな暮らしが始まっています。「コロナ禍で楽しみが半減しないように」と、なんちゃって葡萄狩りやアイちゃん漬け(作っている管理者の名前を利用者がつけて呼んでいる)マグロ丼などの美味しいもの、楽しいもので日々のリズムづくり、平均介護度3.3もなんので乗り切っています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「元気で明るく笑顔で過ごす」というオープン 当時から変わらない理念があり利用者様 はもちろんスタッフも明るく笑顔で過ごすとい う考えで取り組んでいます	法人理念は朝の申し送りで唱和し、事業所理 念は掲示しているのみですが、勤務歴の長 い職員集団のため自然に浸透していて、「笑 顔で過ごす」日々を送っています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一人として日常的に交 流している	地域住民とのつながりは大事にしています。 コロナ禍で思うように参加が出来ません	コロナ禍であっても神明神社のお祭りを何と か実施したいと自治会も力を入れ、「利用者 の作品を」とのリクエストがありました。ちぎり 絵やぬり絵などを提供し、本年はなんとか連 携が叶っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の 人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて 活かしている	包括主催の会議に出席しています。前年度 は認知症模擬体験を行いました。施設では 認知症がもたらす様々な出来事等を他職種 の方々と話し合い理解や支援の方法を導き 出すようにしています		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活か している	2か月に1回の運営推進会議はコロナ禍の 為思うように行いう事が出来ず施設職員で行 い議事録を送っています	これまでは参会は難しいとして、2ヶ月の活動 内容をまとめ、自治会長などのメンバーに届 けていましたが、5月と7月には少人数で集ま れており、状況を見て臨機に対応していま す。	参会できないときは返信シートを同封 して意見をもらうようにすることを期待 します。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝 えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員やシニアサポーターもコロナ禍 の為呼べませんでした	静岡市のメール配信は必ず確認しています。 地域包括支援センターとは、(認知症で)エア コンが使えず脱水症状を引き起こし緊急入院 となったケース等、地域の困難事例に協力し あえています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて 身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を3か月に1回行い毎 月の会議で報告し迅速に対応している。現 在2階入り口の施錠はしていない。またス ピーチロックに関しては新人職員がいれば 都度研修を行っています	身体拘束廃止委員会を3ヶ月毎におこなっ ていますが、定着率が高いため、近年新入社 員研修は機会がありません。やや近い間 柄からの馴れ合いが生れないよう、管理者を 中心に注意しあっています。	現在委員会を6月、9月におこなって いますが、開催が難しくなることもあるた め、4月、7月と頭を実施することを期 待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法につ いて学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内 での虐待が見過ごされることがないように注意を払 い、防止に努めている	高齢者虐待について意識を高め、入浴時 に体の観察を行いました本人の行動言動に注 意を払い、早期発見できるように職員一同 情報を共有しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在権利擁護や後見人制度を必要とする方はいないが、研修などで学び今後の為に備えたいと思っています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	コロナ禍の為施設見学が難しく、写真を撮って説明を行っています。ご家族様にはケアに対する方針や重度化について説明を行っております		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍でご家族になかなか会えない今施設内での写真はたくさん撮り手紙を送っています。面会は社内のルールに乗っ取り行っています	コロナ禍で見学がおこなえないため、内部の様子を写真に撮って引き延ばしてパンフレットに挟み込んでおり、現在利用の家族にも同様に写真で様子を届けています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月1回の研修は時間短縮や人数制限し行ったり自宅学習という形を取りました。また職員同士お互いを良く知り、足りないところを助け合いながら業務にあたっています	職員はアサーションの強い人もいれば控えめな人もいて、それぞれなもの、バランス感覚の優れた職員が上手に間にはいってくれ、和気藹々と気持ちのよい職場環境が出来上がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	人事考課で職員個々の目標管理し達成できるように環境設備に努めています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部外部研修を通じて学んだ内容をミーティングで職員に伝えたり資料配布しここで学んでいます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じエリアの管理者や施設長と意見交換や勉強会を行っています。一緒に行える行事等も把握し職員・利用者様の行き来もありません		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人・ご家族にコミュニケーションを図りサービスの説明をさせていただいております。また困っていることや不安なことなどを聞きながら、利用者様が安心してその人らしく生活できるように心がけております		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	在宅介護生活での大変さや問題点を家族とともに確認し、情報をたくさん共有し共に考え信頼関係の構築に心掛けております		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	CMを中心に状況によってはアセスメントをし何が必要なのか見極め今後の支援について職員全体で検討しています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中で出来る事は一緒に行い本人の役割を感じて頂けるように努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との交流を持つことが難しくなり面会も制限されています。荷物を持ってきて頂いたときにお声がけし少しだけ面会する等行っています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と外食に行く。メガネを買いに行く。家族が髪を切る等行っています	検温等ルールに基づき予約での面会を実現させていますが、家族が感染を心配して遠慮するため面会は格段に減っています。一方、これまで通り美容師の娘に定期的に髪を手入れしてもらう人もいます。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、必要時に職員が間に入りコミュニケーション取れるように支援している。また、他者とトラブルにならないよう職員同士注意し誘導の順番を考えたり席替えを行ったりしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後もご家族と連絡を取り、暮らしの経過を確認しています		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常のかかわりの中で何気ない会話や表情・行動等で利用者様の想いをくみ取り叶えられるよう検討し支援につなげています	紐解きシートやセンター方式などのツールを は導入していませんが、普段のやりとりから 收受できており、例えば縫い物が好きだった 人は職員のアプローチで刺し子にはまり、作 品づくりに燃えています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメントを活用し理解に努めています。 また、本人や家族との会話の中からも情報を 得るようにしています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	コミュニケーションを取りながら安心して生活 ができるよう支援しています。また、健康状 態には日々注意を払い職員全体で共有し体 調管理に努めています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	ご本人・ご家族・関係者(リーダー・居室担当 者)を交えて希望・要望・意向を伺い意見や アイデアを交換しそれを基に作成しています	担当者の欄に「本人」とあり、安心であること もに丁寧に検討したことが見える介護計画書 は、計画作成担当者を兼務する介護支援専 門員が作成しています。	コロナが終息したら、担当者欄にボラ ンティアや家族、地域の人が入ることを 期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	1日の経過記録・排泄・入浴・食事・BT チェックを記録しています。気づいた点があ れば連絡ノートに記入し情報交換に生かし ています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズ に対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟 な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の希望やご家族の意向を確認し柔軟 な支援やサービスが行えるように対応して います		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域ボランティアの受け入れや、地元中学生の職場体験・保育園児の慰問など、地域の人とのつながりを大切にしています。が、コロナ禍で実際には外部の方々の受け入れができませんでした		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診医の受診を支援しています。家族・本人の希望により外に受診に行かれる方もいます。利用者の経過を主治医に伝え適切な医療を受けられるよう支援しています	家族と本人が希望したなら従来のかかりつけ医を続けてもらっていますが、通院介助は家族の担当です。事業所の協力医に切り替えた利用者は月2回の訪問診療を受けています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職員と看護師の連携に努め、看護師より適切な指示を受け健康管理に努めている。些細な変化も見逃さないよう日々の情報を職員と看護師が共有しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	体調不良などで緊急入院となった場合も職員が医療機関へ出向き直接対応し家族の不安も和らげるよう努めています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	現在対象者はいないが、家族とは話し合いを行いなるべくならここで看取ってほしいと言われている。主治医や家族と話し合い確認を取っていきご家族の意向に添えるよう努めていきます	家族は此処で最期を迎えて欲しいという人ばかりのため、事業所としては取組む態勢でいます。週1勤務の看護師が食事レクや入浴の見守りに及んで関わってくれており、終末期にも心強い存在です。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応は勉強会などで知識を付け学習している。職員間でも緊急連絡もがあり近隣に住む職員が対応しています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	職員の119番通報のやり方や、日頃より利用者様と緊急時の大声の出し方などをレクの一環で行っている。また、缶詰や乾物などストック食材で災害食メニューを利用者と一緒に考え作りました	年2回の法定訓練のほかに月1回のミニ訓練を4月から開始しています。ビニール袋で卵焼き、切り干し大根のサラダなど非常食の開発や、1階と2階との声のかけ方など実践的な学びが進んでいます。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	常に高齢者への尊厳の想いを忘れないように心がけている。人生の先輩とし尊厳を忘れず礼儀や言葉使いに気を付けるよう心掛けている。介助の一つ一つも尊重した対応を行うよう努力しています	ちゃん呼びやノック忘れなどはなく、総じて丁寧な対応ができる職員ばかりです。退職者がなく、利用者と長い付き合いのため、「親しき仲にも礼儀あり」に留意しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	それぞれの認知症の状況や理解力に応じて選択肢の増減を持って対応している。尊厳・傾聴に心掛け押し付け介護にならないように努めています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人一人のペースを大切にし本人らしさを尊重している。1日を楽しく過ごして頂けるような配慮を心掛けています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	定期的に訪問美容を使いカットだけでなく本人希望で顔そり・カラーも行っている。その日の服も気分に合わせて一緒に選んでいます		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理専門職員が勤務し季節の野菜や果物を提供しています。お好み焼き・たこ焼き・おでん・餃子パーティーなど利用者様と一緒に作っています	法人の献立をアレンジして創作料理へと仕上げる腕をもつ専任調理者は普段から、おでん、たこ焼きなど家庭料理にプラスαの楽しいものを提供していて、餃子は利用者が主となって作っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量など毎回チェックし必要な栄養・水分の確保が出来るように支援しています。食事形態もその方に合わせお粥やきざみ等提供しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	訪問歯科にて口腔内チェック・治療を行っています自分では困難な方にはこちらで支援うまくうがい出来るよう声掛けしています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人一人の排泄パターンを理解し声掛けや介助見守りを行っています。自力排便排尿が困難な方も声掛け誘導し排泄を促しています。また、拒否や難儀な事例についてはカンファレンス等で話し合い対策を練っています	旬の食材を豊富に取り入れた美味しい食事とともに「トイレで座って」が励行され、平均介護度3.3であるのに、日中は全員がリハビリで過ごしています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を多くとる・よく噛んで食べるなどの声掛けや便秘解消の体操を行っている。それでも困難な時は看護師に対応してもらっています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴日は大方決まっていますが体調や気分に応じて支援している。なるべく浴槽に入りたいと考え難儀な方は二人対応している。足浴にも入浴剤を使ったり、母の日は特別な入浴剤で楽しんで頂きました	主に午前中が入浴タイムですが、希望で午後にもすることもあり、柔軟に対応しています。シャワー浴となっている人には足浴も合わせておこない、足浴にも入浴剤を加えて、楽しみを膨らめています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人一人に合わせて日中でも休息が取れるように支援している。和室を使い毎日午後休息をとっています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々にファイルを作成し職員がいつでも確認できるようにしている。また、薬の必要性や副作用なども理解し誤薬や飲み忘れがないよう支援しています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物畳みや食事前のテーブル拭き、食器洗い、また他利用者様にエプロンを付ける等毎日行っています。針仕事を頼まれると喜んで引き受けて下さる方もいます		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候や利用者様の体調又は職員の配置に合わせて散歩やドライブに行っています。家族と外食に行く方もいます。ベランダに出て近隣園児の散歩に声掛けしたり中学の校庭を眺めたりしています	戸外活動が減った分夏祭りは浴衣を着たり、一昨年のなんちゃってイチゴ狩りにプラス今年は洗濯ばさみハンガーの葡萄狩りと、室内でも季節を感じています。少数ですが、家族と外食や必要用品の買い物などに出かける例もあります。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	今お金を持っている方はおりません。外出時は立替金を使い自分で選びたいものを買入することはあります		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	「家に電話を掛けたい」等希望される利用者様に都度対応している。また携帯電話を使用されている方にも使い方等対応しています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	行事の写真や利用者様作成の展示などが季節に合わせて展示しています。ホールのソファも人気で利用者様同士雑談されそこに職員も入り会話を広げたりします	以前の噴霧器を廃棄し、オゾンが発生する空気清浄機に買い換えています。母の日に沢山届いた花にお湯を注いだり、メダカにお味噌汁のお麩をあげようとするなど珍事件も間々ありますが、それなりに受け入れ和やかな雰囲気を大切にしています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	日中は自由に好きな場所で好きな事のできる空間づくりをしている。歌好きな方が大きな声で歌うと、裁縫をしながら一緒に歌うなどされています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	身体状況に合わせ居室をご用意させていただきます。家族との集合写真や手紙等飾っている方もいらっしゃいます	住んでいた家宅を処分することになり、管理者と職員とで「捨てられたら困るもの」を急いで収集に行った例では、クローゼットにそのときの荷物がすし詰め状態で収められている居室もあります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	生活の動線に邪魔になるようなものは置かない工夫をしています。できる限りできる事は自身でやっていただけるよう支援しています		